

- 問1 北緯30度から45度の範囲には、日本の本州の大部分が含まれます。世界地図において、この日本と同じ緯度帯に位置する国のうち、アジア大陸の西端にあり、ヨーロッパとアジアの両方の文化が混ざり合う「結節点」としての役割を果たしている国を選びなさい。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. エジプト                      2. オーストラリア                      3. トルコ                      4. アメリカ合衆国
- 問2 トルコの産業と貿易の特色について、その背景を含めて説明した文として最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 広大な乾燥帯を利用した小麦の企業的穀物農業が盛んであり、農産物が輸出額の過半数を占めている。      2. 豊富な石油資源の輸出に依存した経済構造を持っており、輸出相手国は主にアメリカや中国である。      3. アジアとヨーロッパの接点という立地を活かし、ドイツなどの欧州諸国を主要な市場として自動車や機械類を輸出している。      4. 天然ガスのパイプラインの起点として、ロシアなどの近隣諸国へエネルギー資源を供給することが貿易の柱となっている。
- 問3 サウジアラビアなどの産油国における経済統計を確認すると、原油価格が1バレルあたり94ドルと高値であった2008年には、国内総生産（GDP）も2081億ドルと高い水準にありました。しかし、価格が61ドルにまで落ち込んだ2009年には、GDPも1695億ドルへと減少しています。このような統計から読み取れる、産油国の経済の特徴として適切なものはどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 原油価格の下落は、国内の消費を刺激するため国内総生産を押し上げる要因となる      2. 製造業が高度に発達しているため、原油価格が変動しても国内総生産は一定である      3. 国内総生産の規模は、原油価格の推移とは逆の方向に動く性質を持っている      4. 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある
- 問4 東南アジアに位置するマレーシアは、古くからの先住民やマレー系のほかに、歴史的な経緯から中国やインドなどから移り住んだ人々が共に生活しています。このように、異なる言語、宗教、文化を持つ複数の民族によって構成されている国家の形態を何と呼びますか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 単一民族国家                      2. 都市国家                      3. 君主制国家                      4. 多民族国家
- 問5 中国の人口統計において、一定の面積（1平方キロメートル）あたりに居住する人口の数を示す数値を比較したとき、山東省などの沿岸部と、甘粛省などの内陸部の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 人口増加率は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。      2. 人口密度は沿岸部で高く、内陸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。      3. 人口密度は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。      4. 人口密度は中国全土で均一であり、省ごとの地理的条件による差はほとんど見られない。
- 問6 主に仏教を信仰しているタイの人々の日常生活で見られる行動として、最も適切なものはどれですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. 朝の託鉢の際に、僧侶へ食料や日用品を寄付（布施）する。      2. 聖なる川とされるガンジス川に入って沐浴を行う。      3. 日々の生活の中でキリスト教の聖書を読むことを大切にする。      4. 聖地メッカのある方向に向かって、1日に5回お祈りをする。
- 問7 インドシナ半島の中央部に位置するある国では、工業化の進展に伴い貿易の構造が大きく変化しました。2013年の統計において、機械類の輸出額が約668億ドル、自動車の輸出額が約259億ドルに達し、これらが主要な輸出項目となっている国はどこですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. フィリピン                      2. ベトナム                      3. マレーシア                      4. タイ
- 問8 サウジアラビアなどが位置する西アジア地域では、その自然環境に適応した独自の食文化が見られます。この地域の自然環境と食生活の特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 季節風の影響を避けるために乾燥した高地で生活しており、寒冷な気候に強い豚肉の加工品が主なタンパク源となっている。      2. 乾燥帯に属し降水量が少ないため、広大な土地を利用した放牧が行われ、羊やラクダの肉を焼いた料理などが食べられている。      3. 地中海性気候の影響で夏に雨が多いため、稲作と並行してラクダの飼育が行われ、米と肉を組み合わせた料理が発達した。      4. 温暖湿潤気候に属しているため、一年を通じて豊富な水を利用した淡水魚の養殖と、それをういた魚料理が主食となっている。
- 問9 東南アジアのマレーシアでは、1980年代には原油などの天然資源が輸出の中心でしたが、2022年の統計では機械類の割合が42.1%を占めるまでに成長しています。このようなマレーシアの輸出構造の変化について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. ゴムやスズといった特定の農産物や鉱産資源のみの輸出に頼るモノカルチャー経済がさらに強化された。      2. 工業化による環境負荷を抑えるため、機械類の輸出を制限し、再び石油や天然ガスの輸出割合を上昇させた。      3. 天然資源への依存から脱却し、機械類などの工業製品の輸出を拡大させることで産業の高度化が進んだ。      4. 国内での消費を優先させる政策をとったため、工業製品の輸出が滞り、輸出総額が1980年代よりも減少した。
- 問10 アジア大陸の沿岸部から島嶼部にかけて、他の大陸と比較して圧倒的に多くの稲作地帯が広がっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 広大な乾燥地帯が広がっており、地下水を利用した大規模な灌漑農業が行いやすいため      2. 大規模な機械化農業が容易な平坦な土地が多いため、小麦の栽培よりも生産効率が高いため      3. 一年を通じて冷涼な気候が続くため、病害虫の被害を受けにくく米の長期保存に適しているため      4. 夏の季節風の影響で高温多湿になり、水田稲作に適した気候条件が整っているため
- 問11 2000年代初頭のベトナムにおいて、輸出額で上位に位置していた「魚介類」の生産や輸出の背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 重工業化政策の推進により、鉄鋼や機械類の輸出が急増したため、水産物の輸出割合は極めて低くなった。      2. 内陸部の冷涼な気候を利用して、サケやマスなどの淡水魚を大規模に養殖し、ヨーロッパへ輸出している。      3. 伝統的な沿岸漁業が中心であり、冷凍技術や加工技術が未発達なため、生魚の状態での輸出に限定されている。      4. メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。
- 問12 1980年から2015年にかけての韓国の輸出の変化について、その特徴を説明した文として正しいものを、品目の構成や輸出額の推移に着目して選んでください。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 衣類やせいの品の輸出割合は拡大し続け、2010年代に入っても軽工業が経済成長を支えている。      2. 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。      3. 工業化を断念し、精密機械や自動車などの輸入を増やすことで内需主導の経済へと変化した。      4. 船舶の輸出が大幅に減少したことを受けて、現在は石油製品の輸出が最も多くなっている。